

地域とともにある学校をめざして ～みんなが Well Being に！～

内原特別支援学校

地域とともにある学校をめざして



地域と学校がパートナーとなり



目標やビジョンを共有し



よりよい地域と子どもの未来を、一体と
なって考えていける地域・学校をめざして

「地域と学校が連携してできること」を地域の皆さんと
一緒に考えていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。



内原特別支援学校の子どもたち



令和4年度に、高等部が新設され、現在は、小学部1年生から、高等部3年生まで、約140名
(令和6年5月1日現在)の児童生徒が内原特別支援学校で学んでいます。

本校の児童生徒は、物事の理解や、コミュニケーション、生活への適応などが難しい面もあります。しかし、「絵や写真などを使って分かりやすい言葉で伝える」、「一人一人に合った活動を行う」などの支援があれば、根気よく丁寧に仕事に取り組んだり、豊かな表現力で絵を描いたりなど、力を発揮することができます。

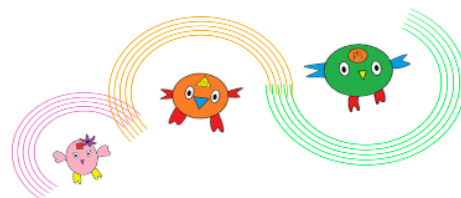
「ともにできる」ことがあれば、こちらへ連絡を！






内原特別支援学校 (担当：地域連携・交流教育部)
住所 〒319-0323
水戸市鯉淵町 2570 番地
電話番号 029-259-5813
FAX 番号 029-259-7179
メールアドレス daihyo@uchihara-sn.ibk.ed.jp
ホームページ <http://www.uchihara-sn.ibk.jp>



内原特別支援学校 HP

「ともしでできる」活動の例



連携する学校・施設・団体	活動内容
小・中学校、高等学校 高齢者福祉施設 障害者福祉事業所 など	互いの作品等を展示したり、音楽活動等の発表を見せ合ったりすることで、同じ地域でともしで生きる人々の存在や活動を知ることができます。 
高齢者支援施設 自治会 地域の高齢者 など	地域に住む高齢者の方に、特別支援学校の子どもたちがお知らせや配付物を届けに行くことで、高齢者のふれあいの機会を増やし、訪問により見守ることができます。 
小学校、幼稚園、保育園 図書館 など	特別支援学校の生徒が国語等で学んだことを活かし、読み聞かせや人形劇などを行うことで、障害への理解啓発につなげることができます。 
地域の公共施設、自治会 企業 高齢者福祉施設 保育園・幼稚園 など	特別支援学校の生徒が、農作業や清掃作業の学習経験を活かして、花壇の手入れや、窓の清掃などを行うことで、地域に貢献することができます。 
地域の団体、自治会 企業 など	特別支援学校の授業において、地域の方に専門性を活かしたゲストティーチャーとして参加していただくことで、地域の方との触れ合いがもてるとともに、児童生徒の学習をより深めることができます。 

「地域と特別支援学校が連携してできること」を
 いっしょに考えていきましょう。

